

8-1-6 景観

(1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観

① 調査の結果の概要

ア. 眺望点の状況

(ア) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

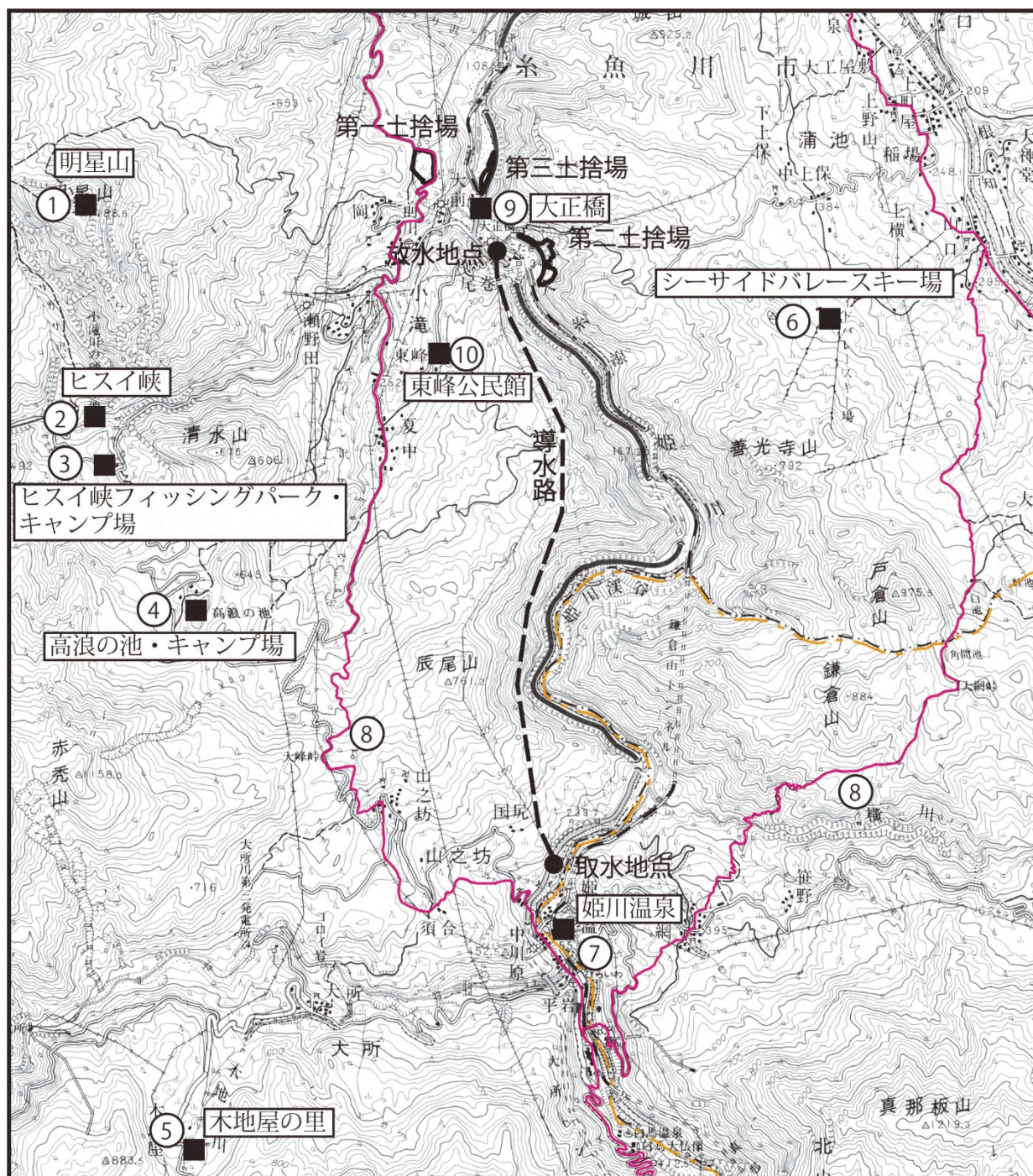
地域の景観の特性を踏まえて、原則として対象事業実施区域の周辺約 3km の範囲内とした。

b. 調査方法

主要な眺望点候補地は、調査範囲内に存在し、地元住民をはじめ不特定多数の人が利用する機会のある施設及び周辺住民が日常生活上慣れ親しんでいる公共の場所を、糸魚川観光ガイド、長野県小谷村観光公式サイト、小谷村商工会ホームページ等から抽出した。

c. 調査結果

調査の結果、10 点を眺望点として抽出した。抽出した眺望点の位置及びその概要は第 8-1-6-1 図、第 8-1-6-1 表に示すとおりである。



凡 例

■ : 観光資源

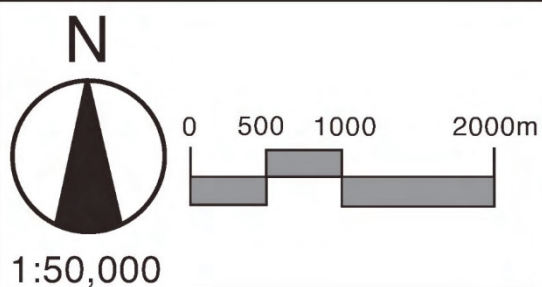
— : 塩の道トレイル

出典：いといがわ観光ガイド 糸魚川市 HP
長野県小谷村の観光公式サイト 小谷村 HP
塩の道トレイル 小谷村商工会 HP

--- : 県境

●—● : 対象事業実施区域

第 8-1-6-1 図 眺望点の位置



第 8-1-6-1 表 眺望点の概要

図 中 番 号	名 称	利用 形態	対象事業実施区域 との位置関係 方向、距離、景観区分			概 要
			発電所	第一 土捨て場	取水堰堤	
1	明星山	登山	西 3.2km 中景	西 2.6km 中景	北西 6.3km 遠景	白馬山麓県立自然公園にあり、日本有数のロッククライミングのゲレンデとして有名。切り立った岩肌が独特の景観を呈する。
2	ヒスイ峡	観光	南西 3.4km 中景	南西 3.1km 中景	北西 5.0km 遠景	糸魚川ジオパークのジオサイト。「小滝川硬玉産地」として天然記念物に指定され、ヒスイの産地として多くの人に親しまれている。
3	ヒスイ峡フ イッシング パーク・キ ャンプ場	レク	南西 3.4km 中景	南西 3.1km 中景	北西 4.7km 中景	川の流れを引き込んだ人工の溪流で、初心者でも気軽に溪流釣りの気分が味わえる。
4	高浪の池・ キャンプ場	レク	南西 3.7km 中景	南西 3.8m 中景	北西 3.4m 中景	白馬山麓国民休養地内にある高原の池。施設内には高原交流センター、売店、キャンプ場、グラウンドゴルフ場なども整備されている。
5	木地屋の里	観光	南 7.5km 遠景	南 7.7km 遠景	南西 3.5km 中景	集落内に残されていた独特の道具類、古文書類が展示されている資料館。民家を移築復元したもので、独特の家屋構造が見られる。
6	シーサイド バレースキ ー場	レク	東 2.7km 中景	南東 3.4km 中景	北東 4.7km 中景	糸魚川 IC から約 15 分の白馬山麓にあるスキー場。日本海を見ることができ、眺望のよさで人気がある。
7	姫川温泉	観光	南 5.8km 遠景	南 6.0km 遠景	南 0.5km 近景	小谷村と糸魚川市の境にある温泉。姫川の清流、JR 大糸線が走るローカルな雰囲気、四季折々の山の景色の中で温泉を楽しむ。
8	塩の道トレ イル	レク	北西 0.8km 近景	東 0.0km 近景	南西 0.2km 近景	新潟県糸魚川市から長野県の中信松本市までに及ぶ全長 120km のトレッキングルート。一部が第一土捨て場の脇を通る。
9	大正橋	生活	南東 0.3km 近景	南東 0.6km 近景	南 5.1km 遠景	当該地域の主要な道路である国道 148 号の橋。大糸線の鉄橋が並行してかかっており、大糸線からの景観もほぼ同様であると考えられる。
10	東峰公民館	生活	南西 1.0km 近景	南 1.4km 近景	南 4.2km 中景	第一土捨て場の対岸の高台にあり、集落の住民が利用する公共の施設。

注：1. 表中番号は第 8-1-6-1 図に対応する。

2. 「利用形態」の内容は以下のとおりである。

登山：主に登山を目的として利用される。

観光：主に観光を目的として利用される。

レク：主にスポーツ、レクリエーションを行うことを目的として利用される。

生活：主に日常生活の中で利用される。

糸魚川市観光協会 HP、小谷村観光連盟 HP 等より作成。

イ．可視領域の検討

計画施設で景観に影響を及ぼすと考えられる発電所、水槽～水圧管路、第一土捨場について可視領域図を作成した。可視領域図には現時点で想定される主要な眺望点、周辺集落などを併せて示し、建物や樹木等による遮蔽は考慮していない。

なお、取水堰堤は既存施設を利用し、堰堤の新設は行わないこと、第三土捨場は現在建設会社の資材置き場として利用されており、国道や集落からほとんど見ることができないことから、景観の検討対象としないこととした。

(ア) 発電所 第 8-1-6-2 図参照

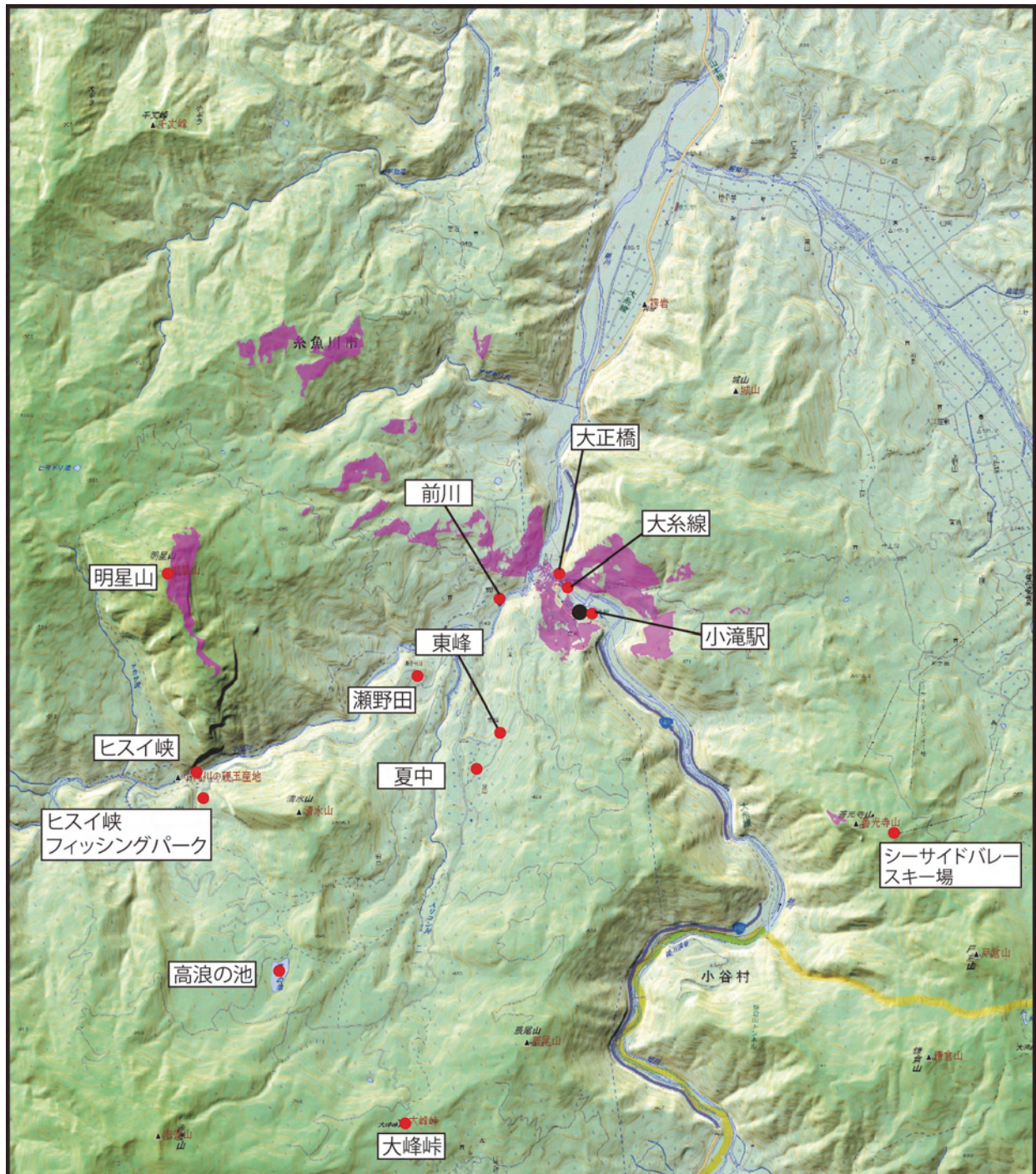
河道近くに位置するため、可視領域は姫川－小滝川合流点付近を中心とした範囲となる。国道 148 号大正橋、JR 大糸線の鉄橋、JR 小滝駅から良く見えると考えられる。また、明星山山頂からも見えると考えられる。

(イ) 水槽～水圧管路 第 8-1-6-3 図参照

発電所より標高の高い位置にあるため、可視領域は北側のより広い範囲に広がる。発電所と同様に国道 148 号大正橋、JR 大糸線の鉄橋、明星山から良く見えると考えられる。

(ウ) 第一土捨場 第 8-1-6-4 図参照

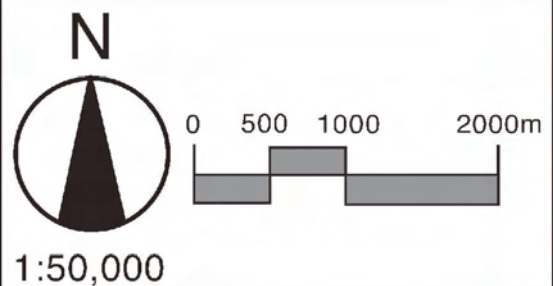
第一土捨場は標高の高い高台にあるが、南斜面に位置するため、南側に可視領域が広がる。夏中集落、東峰集落、大峰峠、シーサイドバレースキー場の最上部から見えると考えられる。

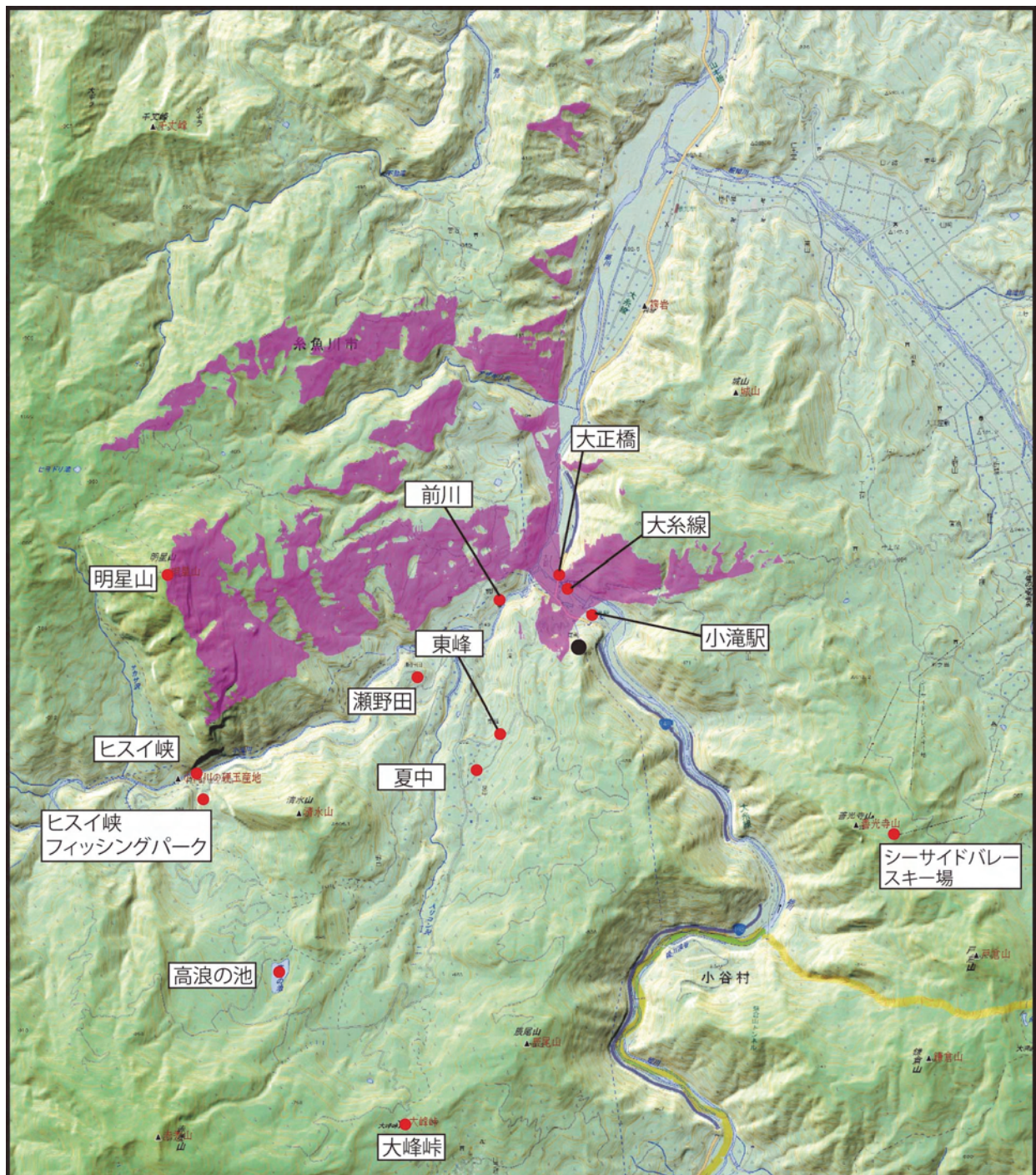


凡 例

- : 計画施設 (発電所)
- : 可視領域
- : 眺望地点

第 8-1-6-2 図 発電所の可視領域図



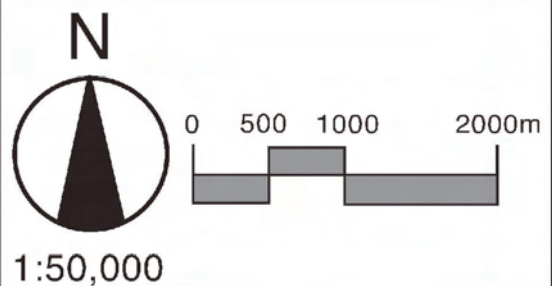


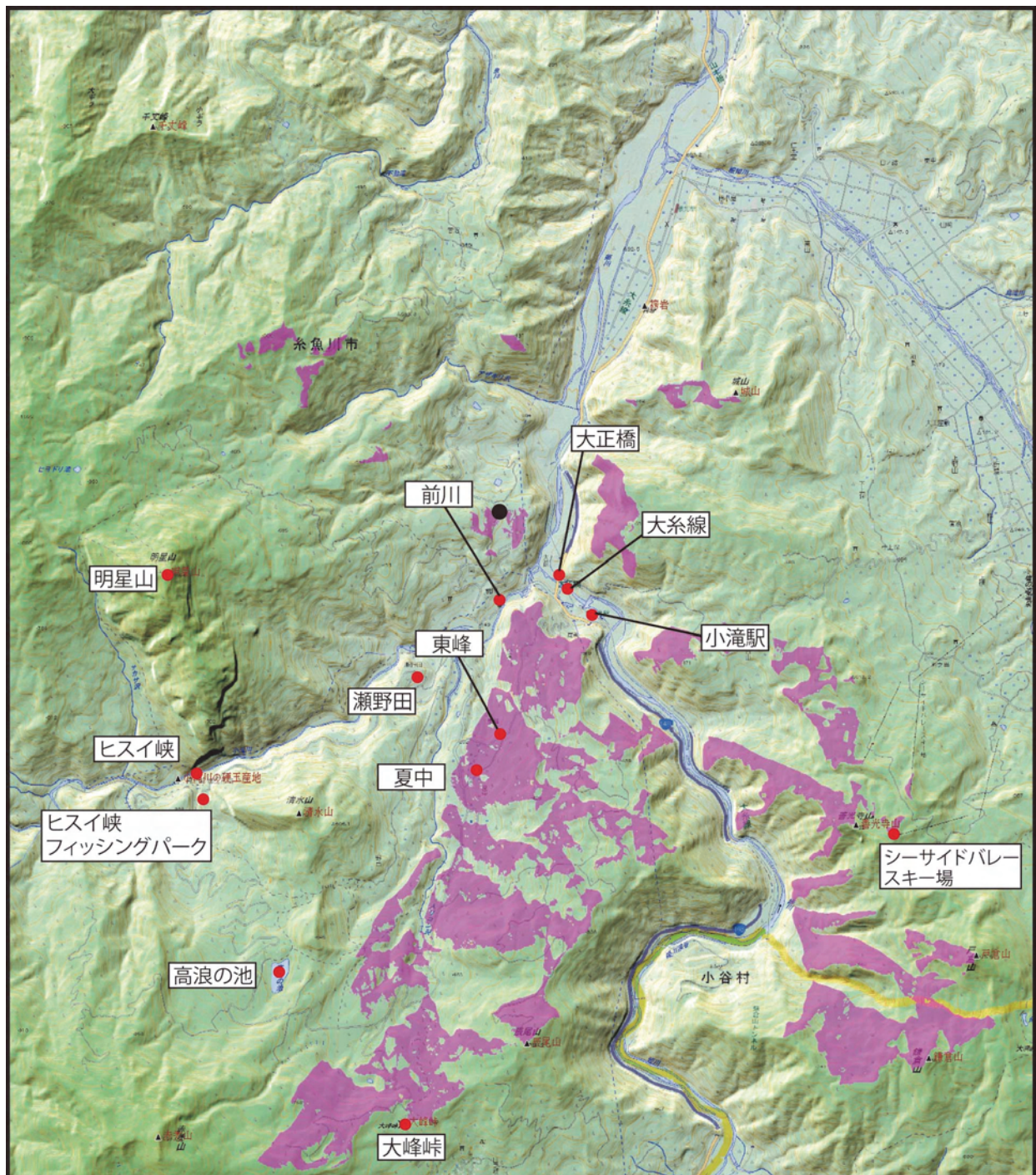
凡 例

- : 計画施設 (水槽～水圧管路)
- : 可視領域
- : 眺望地点

第 8-1-6-3 図

水槽～水圧管路の可視領域図

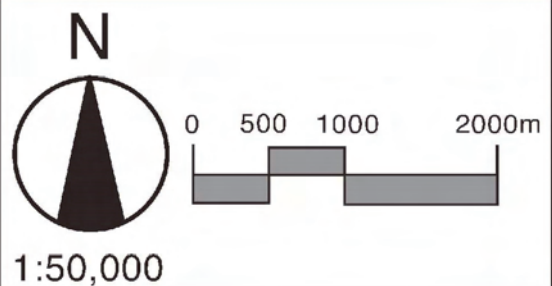




凡 例

- : 計画施設(土捨て場)
- : 可視領域
- : 眺望地点

第 8-1-6-4 図 第一土捨て場の可視領域図



ウ．景観資源の状況

(ア) 文献その他の資料調査

a. 調査地域

地域の景観の特性を踏まえて、原則として対象事業実施区域の周辺約 3km の範囲内とした。

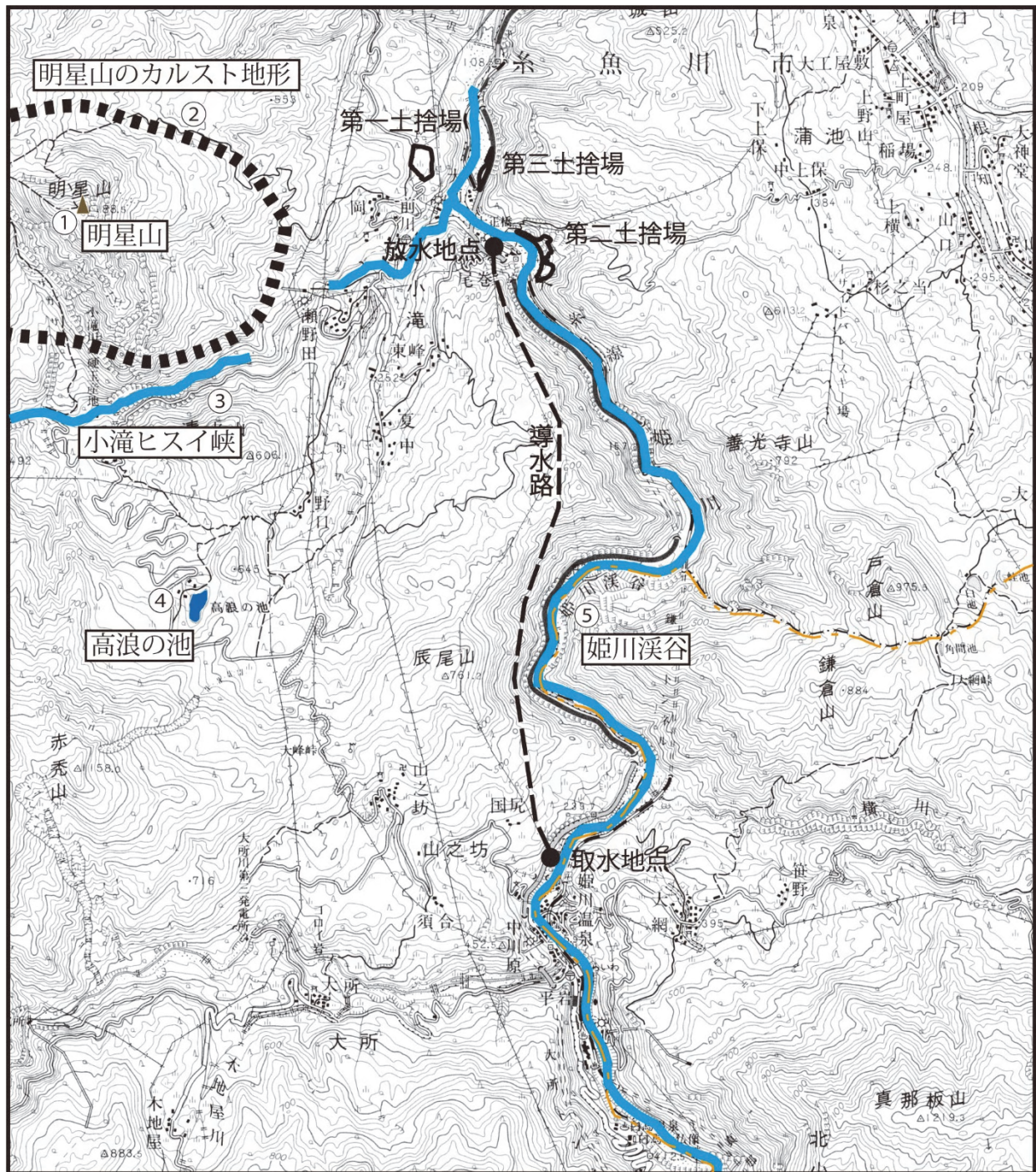
b. 調査方法

調査地域内に存在する自然景観資源、人文景観資源について、「第 3 回自然環境保全基礎調査」等の既存資料により整理した。

c. 調査結果

景観資源の位置は第 8-1-6-5 図に、景観資源の概要は第 8-1-6-2 表に示すとおりである。

景観資源はすべて自然景観資源で、明星山、明星山のカルスト地形、小滝ヒスイ峡、高浪の池、姫川溪谷の 5 件がある。

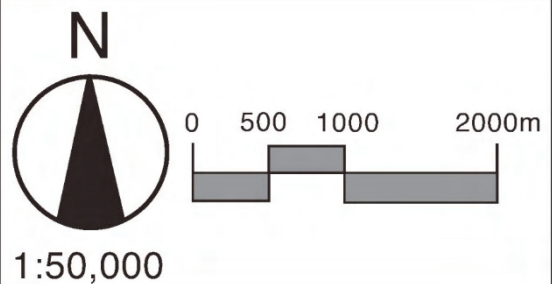


凡 例

出典：第3回自然環境保全基礎調査
自然環境情報図（新潟県）

— — — — — : 県境
● — ● : 対象事業実施区域

第8-1-6-5図 景観資源の位置



第 8-1-6-2 表 景観資源の概要

図 中 番 号	名 称	対象事業実施区域 との位置関係 方向、距離			概 要
		発電所	第一土捨場	取水堰堤	
1	明星山	西 3.2km	西 2.6km	北西 6.3km	白馬山麓県立自然公園にあり、日本有数のロッククライミングのゲレンデとして有名。 切り立った岩肌が独特の景観を呈する。
2	明星山の カルスト 地形	西 1.6km	西 1.1km	北西 4.7km	マイコミ平と並び、石灰岩が侵食してできる地形を確認することができる。
3	ヒスイ峡	南西 3.4km	南西 3.1km	北西 5.0km	糸魚川ジオパークのジオサイト。「小滝川硬玉産地」として天然記念物に指定され、ヒスイの産地として多くの人に親しまれている。
4	高浪の池	南西 3.7km	南西 3.8m	北西 3.4km	白馬山麓国民休養地内にある高原の池。施設内には高原交流センター、売店、キャンプ場、グラウンドゴルフ場なども整備されている。
5	姫川溪谷	東 0.1km	東 0.3km	西 0.0km	葛葉峠付近から小滝に至る姫川は川幅が狭く、V字溪谷が発達している。 溪谷の景観が楽しめる。

注：表中番号は第 8-1-6-5 図に対応する。

糸魚川市観光協会 HP 等より作成。

エ．主要な眺望点及び眺望景観の状況

(ア) 主要な眺望点の選定

a. 選定方法

「ア．眺望点の状況」で抽出した 10 地点について、発電所～第二土捨場及び第一土捨場との位置関係及び視認状況から、主要な眺望点を選定した。

選定に当たっては、可視図を参考に現地を踏査し、発電所～第二土捨場及び第一土捨場の眺望状況を確認した。対象事業実施区域周辺は V 字峡谷で見通しが悪く、発電所～第二土捨場及び第一土捨場を眺望できる地点は少なかった。発電所～第二土捨場及び第一土捨場を眺望できる地点の中から、最も視認状況の良い 2 地点の眺望点抽出した。

b. 選定結果

主要な眺望点として、発電所～第二土捨場に対して「大正橋」、第一土捨場に対して「東峰公民館」を選定した。

これら主要な眺望点から対象事業実施区域方向を望む景観を、主要な眺望景観とした。
眺望点の評価及び選定結果は第 8-1-6-3 表 (1)、(2) のとおりである。

第 8-1-6-3 表(1) 眺望点の評価及び選定結果（発電所～第二土捨場）

図中 番号	名称	発電所等との位置関係			発電所等の 視認状況	選定 結果
		方向	距離	景観 区分		
1	明星山	西	3.2km	中景	△※	×
2	ヒスイ峡	南西	3.4km	中景	×	×
3	ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場	南西	3.4km	中景	×	×
4	高浪の池・キャンプ場	南西	3.7km	中景	×	×
5	木地屋の里	南	7.5km	遠景	×	×
6	シーサイドバレースキー場	東	2.7km	中景	×	×
7	姫川温泉	南	5.8km	遠景	×	×
8	塩の道トレイル	北西	0.8km	近景	×	×
9	大正橋	南東	0.3km	近景	○	○
10	東峰公民館	南西	1.0km	近景	×	×

※姫川の谷の中に見える

第 8-1-6-3 表(2) 眺望点の評価及び選定結果（第一土捨場）

図中 番号	名称	第一土捨場との 位置関係			第一土捨場の 視認状況	選定 結果
		方向	距離	景観 区分		
1	明星山	西	2.6km	中景	×	×
2	ヒスイ峡	南西	3.1km	中景	×	×
3	ヒスイ峡フィッシングパーク・キャンプ場	南西	3.1km	中景	×	×
4	高浪の池・キャンプ場	南西	3.8km	中景	×	×
5	木地屋の里	南	7.7km	遠景	×	×
6	シーサイドバレースキー場	南東	3.4km	中景	△※	×
7	姫川温泉	南	6.0km	遠景	×	×
8	塩の道トレイル	東	0.0km	近景	△※※	×
9	大正橋	南東	0.6km	近景	×	×
10	東峰公民館	南	1.4km	近景	○	○

※最上部より視認可能だが、スキーコースに向いた場合は視界にはほとんど入らない

※※直近を通過しているが、道路からは緩衝地帯が確保されていることと、斜面上方に位置するため、眺望を妨げない

(イ) 現地調査

a. 調査地域

地域の景観の特性を踏まえて、原則として対象事業実施区域の周辺約 3km の範囲内とした。

b. 調査地点

調査地域内の主要な眺望点 2 地点とした。

c. 調査期間

主要な眺望景観の特性を踏まえ、視認状況が良好な時期に行った。

- ・ 秋季：平成 27 年 10 月 15 日（大正橋）：発電所を対象
- ・ 秋季：平成 27 年 10 月 7 日（東峰公民館）
- ・ 春季：平成 29 年 5 月 19 日（大正橋）：第二土捨場を対象

d. 調査方法

主要な眺望景観の状況について、現地踏査及び写真撮影による情報の収集並びに当該情報の整理及び解析を行った。

写真撮影には、デジタル一眼レフカメラを使用し、人間の視野に近い 50mm レンズ相当で撮影を行った。

e. 調査結果

主要な眺望点の状況は第 8-1-6-4 表、主要な眺望景観の状況は第 8-1-6-7 図、第 8-1-6-8 図及び第 8-1-6-9 図の上段写真のとおりである。主要な眺望景観の撮影状況は第 8-1-6-6 図に示した。

第 8-1-6-4 表 主要な眺望点の状況

眺望点	眺望の状況
大正橋	発電所、第二土捨場を近景として眺望できる、国道 148 号の橋。国道 148 号は当該地域の主要な道路である。大糸線の鉄橋が並行してかかっており、大糸線からの景観もほぼ同様であると考えられる。
東峰公民館	第一土捨場を中景として眺望できる集落。集落の公民館を眺望点として抽出した。

② 予測の結果

ア. 土地又は工作物の存在及び供用

(ア) 地形改変及び施設の存在

a. 環境保全措置

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・ 地形改変の範囲は、必要最小限とする。
- ・ 発電所建屋の色彩や形状は、既設の姫川第六発電所が隣接するため、現有施設と色調を合わせ、景観に配慮したデザインを検討する。
- ・ 水圧管路はこげ茶色とし、周囲の山に溶け込むような配色とする。水圧管路の土台となる法面にはモルタル吹付けを行う。
- ・ 土捨場工事で発生する法面は、むしろ張りによる法面保護を行い、自然な植生の回復を促す。

b. 予測地域

地域の景観の特性を踏まえて、対象事業実施区域から半径約 3km の範囲とした。

c. 予測地点

地域の景観の特性を踏まえて、対象事業実施区域から半径約 3km の範囲とした。

(a) 主要な眺望点

主要な眺望点 2 点とした。

(b) 主要な眺望景観

主要な眺望点 2 点からの眺望景観とした。

d. 予測対象時期

発電所建設工事が終了した時期とした。

e. 予測手法

(a) 主要な眺望点

主要な眺望点は、対象事業実施区域との重ねあわせにより変化の程度を予測した。

(b) 主要な眺望景観

主要な眺望点から撮影した現況の眺望景観に、発電所の完成予想図を合成するフォトモンタージュ法により、景観変化の程度を予測した。

f. 予測結果

(a) 主要な眺望点

主要な眺望点は対象事業実施区域外にあることから、地形改変及び施設の存在による影響はないものと予測する。

(b) 主要な眺望景観

主要な眺望景観のフォトモンタージュによる予測結果は、第 8-1-6-7 図、第 8-1-6-8 図及び第 8-1-6-9 図の下段写真に示すとおりである。主要な眺望景観の撮影状況は第 8-1-6-6 図に示した。また、各眺望景観の変化の状況は以下のとおりである。

i. 大正橋（発電所）

現状では姫川第六発電所、水圧管路などが視野を占め、背後に落葉広葉樹やスギ植林が眺望できる。

将来は、発電所建屋、水圧管路等の設備が出現する。発電所の建屋については、現有施設と色合いをあわせ、圧迫感を低減する。

水圧管路は、周囲の山に溶け込むように、こげ茶色の配色とする。

以上より、地形改変及び施設の存在による主要な眺望景観への影響は少ないものと予測する。

なお、視野に入る景観資源はないため、景観資源への影響はないものと予測する。

ii. 大正橋（第二土捨場）

JR 大糸線鉄橋の向こうに第二土捨場計画地を眺望できる。向かって左側の斜面はかつて土取を行ったため、小段を設けた形状となっている。正面に落葉広葉樹林が眺望できる。

将来は、第二土捨場が出現する。土取場跡地側は地形的な改変は少ない。正面の林の右手には新たに盛土が出現する。いずれの盛土も法面にむしろ張りを施すため、茶系の色合いとなり、違和感は少ない。また、全体に盛土高さが抑えられているため、圧迫感は少ない。

以上より、地形改変及び施設の存在による主要な眺望景観への影響は少ないものと予測する。

なお、視野に入る景観資源はないため、景観資源への影響は無いものと予測する。

iii. 東峰公民館

現状ではスギ植林が広く広がり、土捨場予定地の電波塔が遠景として望むことができる。

将来は第一土捨場が出現するが、手前側の森林が残されるため、この林の影となり、土捨場はほとんど視認できない。

また、第一土捨場の東側道路が塩の道トレイルのコースとなっているが、道路沿いの森林を帯状に残すことから、トレイルコースからの景観についても影響は軽微であると考えられる。

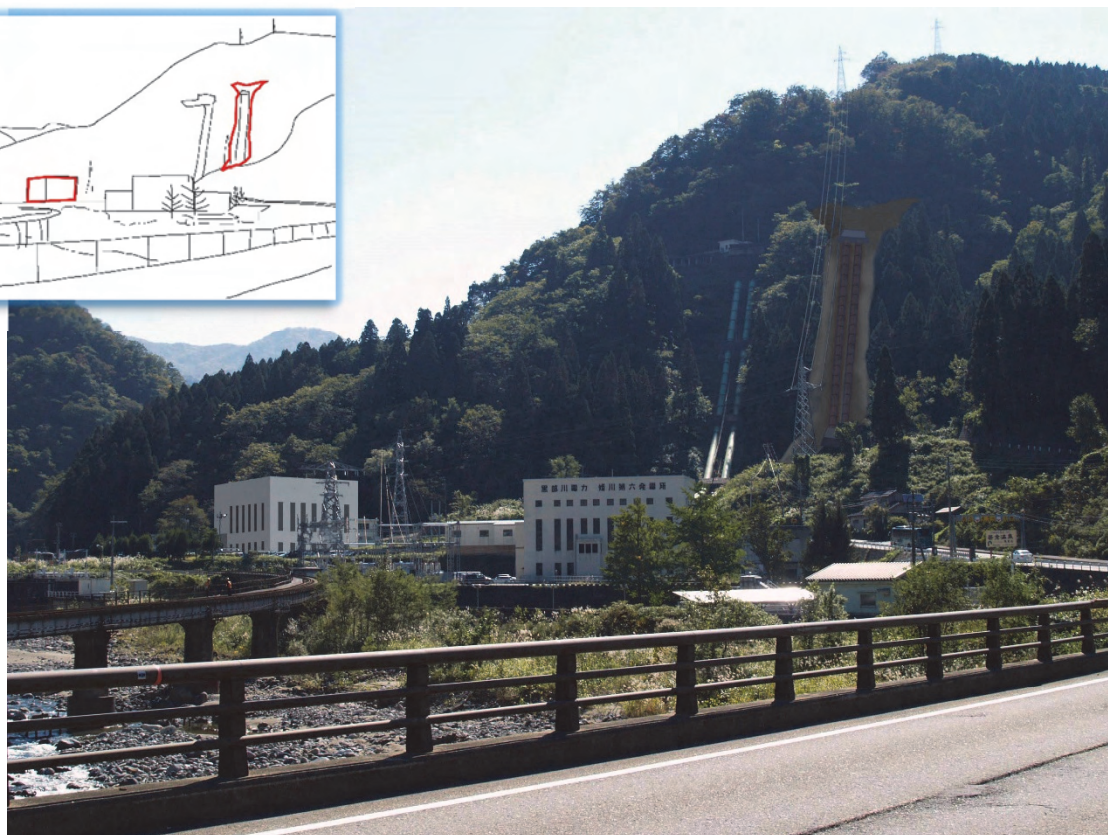
以上より、地形改変及び施設が存在による主要な眺望景観への影響は少ないものと予測する。

なお、視野に入る景観資源はないため、景観資源への影響はないものと予測する。

【現状】



【将来】

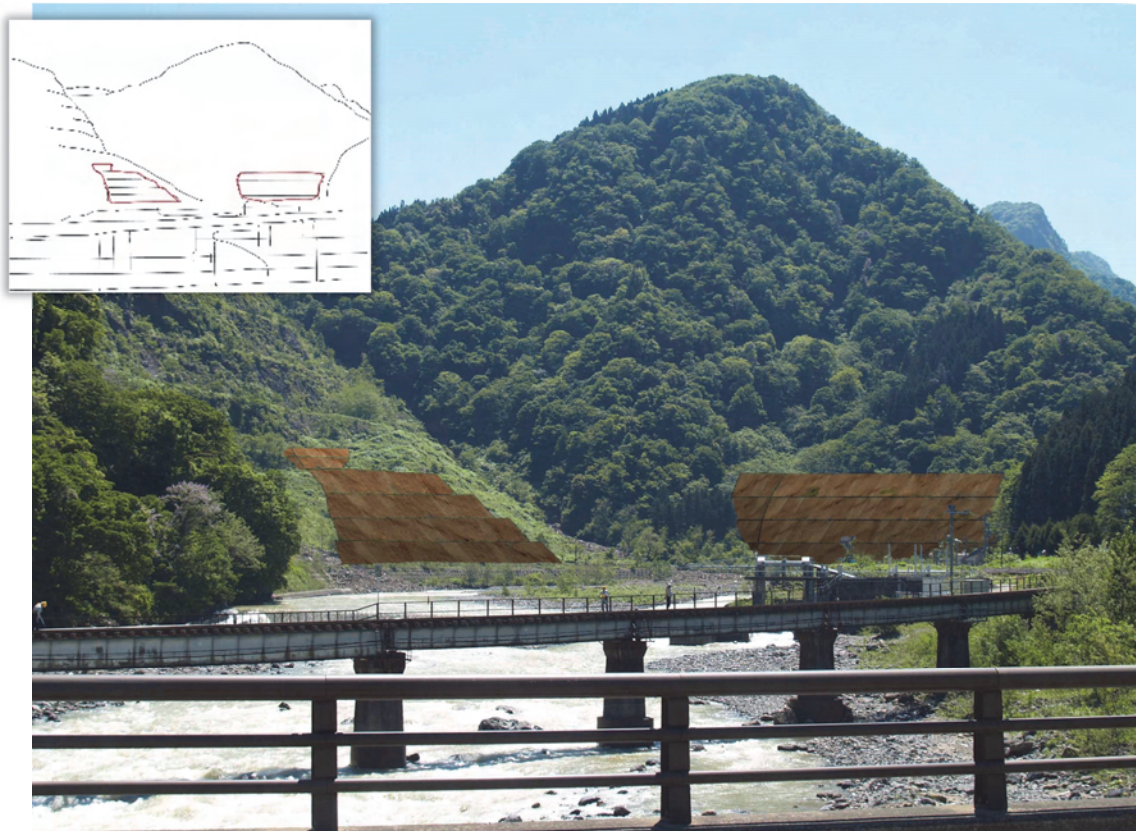


第 8-1-6-7 図 大正橋からの景観の現状(発電所)と予測結果(撮影日：平成 27 年 10 月 15 日)

【現状】



【将来】

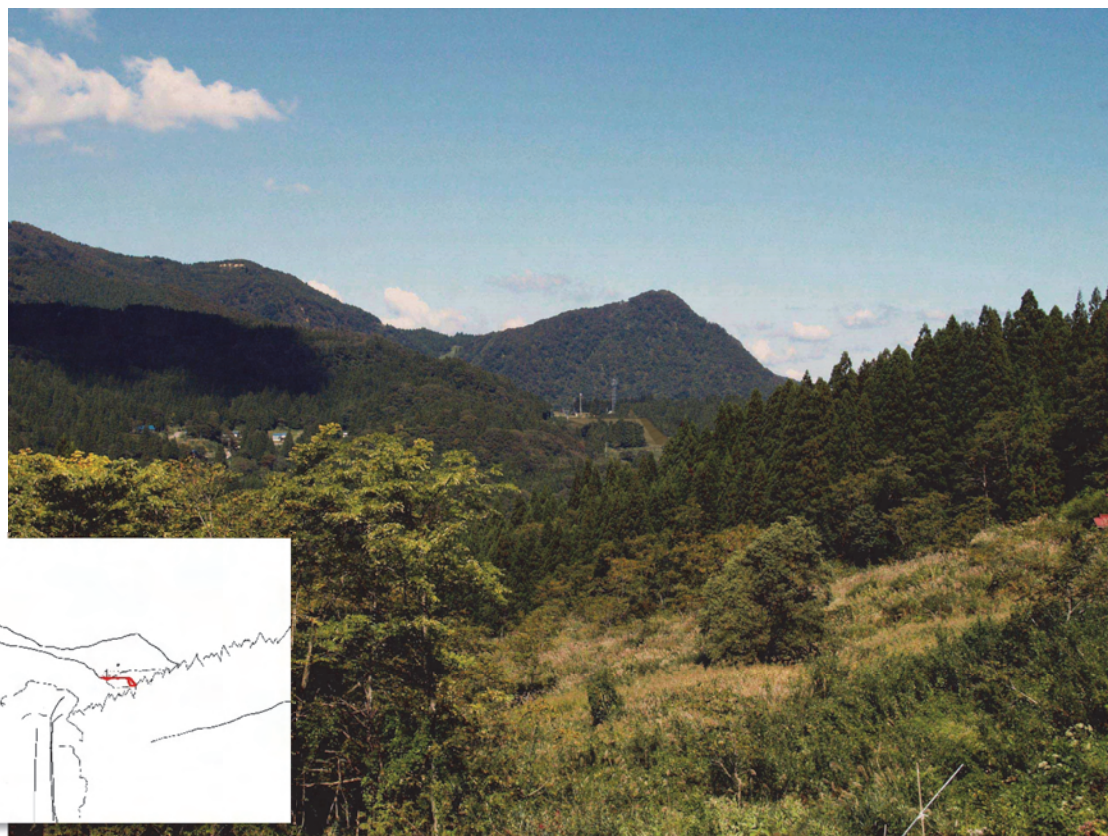


第 8-1-6-8 図 大正橋からの景観の現状(第二土捨場)と予測結果(撮影日：平成 29 年 5 月 19 日)

【現状】



【将来】



第 8-1-6-9 図 東峰公民館からの景観の現状と予測結果(撮影日：平成 27 年 10 月 7 日)

③ 評価の結果

ア. 環境影響の回避・低減に関する評価

地形改変及び施設の存在に伴う景観への影響を低減するための環境保全措置は以下のとおりである。

- ・地形改変の範囲は、必要最小限とする。
- ・発電所建屋の色彩や形状は、既設の姫川第六発電所が隣接するため、現有施設と色調を合わせ、景観に配慮したデザインを検討する。
- ・水圧管路はこげ茶色とし、周囲の山に溶け込むような配色とする。水圧管路の土台となる法面にはモルタル吹付けを行う。
- ・土捨場工事で発生する法面は、むしろ張りによる法面保護を行い、自然な植生の回復を促す。

これらの措置を講じることにより、地形改変及び施設の存在に伴う主要な眺望点及び主要な眺望景観への影響は少ないものと考えられることから、実行可能な範囲内でできる限り低減が図られているものと評価する。